

民主島根

2018年
10.21
第1322号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

党女性キャラバンカー一県内駆け巡る 安倍政治NO!命とくらし大切にする政治を 福住 参院鳥取・島根 選挙区予定候補、地方議員ら参加



スタンディングアピールする福住、安達の両氏ら(益田市)

15日に山口県からスタートした日本共産党中国ブロック女性キャラバンが16日、島根県入りしました。
福住ひでゆき参院鳥取・島根選挙区予定候補、党女性後援会のメンバーと党地方議員らが、益田、浜田、江津、大田、出雲、松江、安来の各市の商業施設前などで街頭演説やスタンディングアピールを行い、県内を駆け巡りました。
益田市の交差点で、福住氏は安達美津子市議らとともに宣伝。ドライバーから多くの声援が寄せられました。
福住氏は、安倍首相が憲法9条に自衛隊を書き込む9条改憲や、来年10月から消費税率を10%に引き上げる方針を示したことにふれ、「市民



と野党の共闘の力、日本共産党の躍進で安倍政治を終わらせよう」と呼びかけました。
尾村・大田県議、橋本市議らが宣伝
「国民の暮らしと平和を脅かす安倍政権の退陣を」。9月県議会が閉会した5日夕、日本共産党の尾村利成、大田陽介両県議と橋祥朗市議、岩田剛東地区委員長らは県庁前で宣伝しました。



憲法を守り生かす政治を

松江 共同センターが3000万署名

憲法を守りいかす共同センターは9日、松江駅前

を終わらせよう」と呼びかけました。
尾村県議は「沖縄県知事選の結果は、憲法や消費税、原発問題など安倍政権が民意に反し、強権的に事を成し遂げようとする政治が通用しないことを明らかにした」と強調し、「原発ゼロ、増税ノの声を一緒に上げましょう」と訴えました。
大田県議は、2日に発足した第4次安倍改造内閣の顔ぶれについて「安

民青同盟県委員会はこのほど、松江市内で合宿を行い、日本共産党の後藤勝彦県委員長を講師に、「マルクスってどんな人?」と題した学習会を行いました。
今年『資本論』の著者カール・マルクス生誕200周年で、青年時代のマル



民青同盟 合宿でマルクス学習会ひらく

後藤氏は「唯物論者、資本主義の病理学者、未来社会論の開拓者」の三つの視点からマルクスを紹介。「マルクスは理論家であり革命家だった。学習しながら実践し、実践のなかから学習することが人生のなかでも大切だ」と述べました。
参加者は「社会人にならたら、マルクスにならたら、自分のためだけでなく、一人でも多くの人のために働きたい」と感想を語りました。

倍首相と同じ右寄り政治家が占める改憲、右翼的な布陣だ」と批判。「憲法を守りいかす政治の実現に力を尽くす」と決意を述べました。

民商まつり2018

10月21日(日) 10:00~15:00
カラコロ工房・ガーデンテラス

- フードコーナー(たこ焼き、大判焼き、お餅など)
- 買い物コーナー(高原野菜、日用品など)
- ステージ(めおと漫才、地元系アイドル、どじょうすくい)

民商まつり実行委員会(松江民商内 TEL:0852-25-3456)

クスを描いた映画が上映されるなど世界的にも注目されています。
後藤氏は「唯物論者、資本主義の病理学者、未来社会論の開拓者」の三つの視点からマルクスを紹介。「マルクスは理論家であり革命家だった。学習しながら実践し、実践のなかから学習することが人生のなかでも大切だ」と述べました。
参加者は「社会人にならたら、マルクスにならたら、自分のためだけでなく、一人でも多くの人のために働きたい」と感想を語りました。

鼓動

安倍首相が15日の臨時閣議で、消費税率を来年10月から10%に引き上げると表明した。全世代型の社会保障制度へ転換するための財源確保としているが、ウソ、ごまかしの政治を続けてきた政権だけに言葉だけが虚しく響く。大企業や一部の富裕層への優遇、軍事費拡大というお決まりの結果になるのではないかと14日の陸自観閲式での訓示では憲法9条を変える意思を見せた。安倍政権は、発足当初から一貫して9条改憲を掲げ、何食わぬ顔で閣僚の憲法尊重擁護義務を踏みにつけてきたことには驚嘆すれども、まったくリスベクトはできない▼この危険極まりない暴走政治を止め、新しい政治をつくるという歴史的意義をもつ来年の参院選、統一地方選での勝利が「5中総」で呼びかけられた。志位委員長は沖縄県知事選の勝利が全国の市民と野党の共闘に希望を与えたとし、大義の旗を掲げ、安倍政権が狙う平和憲法の改悪、消費税増税、原発再稼働など対決軸を鮮明にして結束してたたかうことを強調している。このもとで本格的選挙態勢へと党活動をギアチェンジしていく必要性が訴えられた▼過ごしやしやすい気候になり、慢性的に眠く、ともすれば怠惰な生活に転落する恐れがあったが、「5中総」のおかげで目が覚めた。市民と野党の「本気の共闘」と共産党の躍進で、今度こそ安倍政権を退陣に追い込まねばならない▼「5中総」を力にして自ら党の風を吹かし、10月が安倍政権退陣への大きな一歩となるよう、後援会員や党員のみなさんと手を携えて頑張っていきたい。(純)